



ABEST21 e-News

No.88, November-December 2016

ABEST21

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: ABEST21@abest21.org
Editor: Fumio Itoh

ABEST21 Office Report

2016年11月

- ・09日：Peer Review Committee を Sony University-Sony Corporation で開催
- ・10日：Peer Review Committee Seminar を Sony University-Sony Corporation で開催
- ・14日：Graz University, Austria に出張
- ・28日：Sony Corporation を訪問
- ・28日：文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室を訪問

2016年12月

- ・12日：文部科学省高等教育局高等教育企画課を訪問
- ・15日：経営専門職大学院の認証評価更新セミナーを開催
- ・22日：年内業務納め

1. 2016年の改革

2016年も残り少なくなってまいりました。2016年は、次の10年の節目を目指しての第一歩を踏み出した年でありました。多くの期待に応えての認証評価システムの構築とその実施に明け暮れた1年でもありました。次の10年の飛翔に向けた二つの大きな改革を実行いたしました。

その第一の改革は、2016年3月の認証評価委員会、理事会及び総会の議を経て実施された実地調査 (Peer Review Visits) の制度化です。Peer Review Visits は、これまで「Self-Check/Self-Evaluation Report」の審査において必須でしたが、2016年度より「Kaizen Report」の審査にも導入されることになりました。Kaizen Report は教育の質維持向上を図る実行計画の履行状況を報告するレポートなので、「Self-Check/Self-Evaluation Report」の審査とは切り離すことはできないものです。Kaizen Report は認証評価において教育の質保証を実証する重要な役割を担っています。それは「Self-Check/Self-Evaluation Report」においては、評価基準によって改善すべき課題が「自己点検・評価の分析」によって抽出され、改善を遂行していく実行計画が策定されていきます。この分析を前提にして「Kaizen Report」は前年度の実行計画の履行状況を報告する使命を負ったレポートとなります。この検証がなされない限り「教育の質維持向上」が実質的に行われてきていることをステークホルダーに保証していくことは困難となります。

Peer Review Visits は、1) 現物資料に基づいての調査、2) 関係者からの事情聴取、そして 3) 諸施設設備の視察等により実施され、Self-Check/Self-Evaluation Report 及び Kaizen Report における不明確事項を明確化していくために行われていきます。「教育の質維持向上」の問題の本質を

把握していくためには、できるだけ多くの「関係資料の調査」により問題の本質を見出していかなければなりません。更にはできるだけ多様な「関係者からの事情聴取」により問題の本質を確認もしていかなければなりません。例えば、大学側の一方的な教育のグローバル化に対する思いが、学生・修了生側のニーズに適合していないことがよく見受けられます。インタビューするステークホルダーを“多様化”して様々な意見を聞くことによって、グローバル化に対する問題の本質が見えてくるのではないのでしょうか。

そして、教育研究の現場を視察することにより教育研究環境の実態を知ることができます。従って、Peer Review Visits は審査委員が評価マニュアルを片手に小学生の算数テストの採点をするように分析項目のデータに○（適合）または×（不適合）の印をつけていくのではなく、“何故、この問題が生ずるのか”、“この問題を生み出す要因は何か”、“この問題を如何に解決していくか”等を考えながら、教育研究活動状況を評価していくことにあると思います。審査委員の資質が問われる問題で、審査委員の高等教育研究に対する高度の識見と豊富な経験が不可欠となってきます。受審校から信頼されうる審査委員であることが重要であり、その育成のために審査委員に対するセミナーの開催が欠かせません。

第二の改革は、認証評価のシステムを見直し、Scope of Accreditation を体系化したことです。ABEST21 はこれまで Degree Programs-based Accreditation System を展開してきました。これと並行して、2016 年度より Academic Unit-based Accreditation System を導入することを決定しました。この認証評価システムは、大学の教育組織を構成する学部等の教育組織体（Academic Unit）を単位として教育システムを評価するものです。これまでの Degree Programs-based Accreditation System においては、マネジメント研究科の提供する修士課程の MBA 学位プログラムの認証評価を、また Accounting プログラムを、また Business Economics プログラムを個別に認証評価してきましたが、これらのプログラムの教育研究活動は当該研究科の中では他の学位プログラムと相互関連しているのが現状です。全く独立した存在のプログラムとはなっていません。教育研究の施設設備、教員組織そしてカリキュラム等にも他のプログラムとの共有関係にあります。また、学部教育との共有関係もみられます。それ故、「教育の質保証」の観点からするならば、一つの教育ユニットにおいてある特定の学位プログラムだけを取り出してその教育システムを評価していくことも重要ではありますが、学部・研究科が有機的に相互連関している学位プログラムの一群であると理解するならば、その教育システム全体を評価していくことも重要であると思います。特に、学際的な複合的な教育研究を目的とする学部・研究科においては、一つの学位プログラムだけを他のプログラムから切り離して評価しても、教育の質維持向上の問題の本質的な解決にはならないと考えます。特に、学生の国際交流(Student Mobility)を推進していく場合には、個別学位プログラムの教育の質よりも、交流先の学部・研究科の教育の質が問われてくるからです。ABEST21 が経済・社会・文化のグローバル化の時代的要請に応えて、Academic Unit-based Accreditation System を開発した背景にはこうした事情があることをご理解いただければ幸いです。（理事長、伊藤文雄）

2. Quality Improvement

1) Kaizen Reports の Peer Review Visits について

Kaizen Reports は、2016 年度より 2016 年 3 月の年次総会で Peer Review Visits が義務付けられました。これまで Kaizen Reports の審査は Peer Review Teams(PRT)による書面審査だけでしたが、2016 年度より実行計画履行状況の事実関係を現場で検証していく必要があるということで Peer Review Visits の実施が決められました。Kaizen Reports は、SCER において分析された改善課題が

実行計画通りに履行されてきたかを報告するレポートですので、現場でその履行状況を検証していく必要性から、1)資料による検証、2)多様な関係者からの事情聴取、3)施設設備の視察等により、その確認を行っています。2016年度のKaizen ReportsのPeer Review Visitsでは認証校の1校を除くすべての対象認証校がKaizen Reportを提出し、下記の認証校に対するPeer Review Visitsが実施されました。

China

- ・ School of Business Administration, Northeastern University, Shenyang

Indonesia

- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Semarang
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Indonesia, Jakarta
- ・ School of Business and Management, Institute Teknologi Bandung, Bandung
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Padjadjaran, Bandung

Japan

- ・ 神戸大学経営学研究科現代経営学専攻、神戸
- ・ 一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営・金融専攻、東京
- ・ 青山学院大学国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻、東京
- ・ 関西学院大学経営戦略研究科経営戦略専攻、西宮
- ・ SBI 大学院大学経営管理研究科アントレプレナー専攻、東京
- ・ 筑波大学大学院ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻、東京

Malaysia

- ・ IIUM Centre for Strategic Continuing Education and Training (IIUM CRESCENT), International Islamic University Malaysia, Kuala Lumpur
- ・ Graduate School of Business, Universiti Kebangsaan Malaysia, Selangor Darul Ehsan
- ・ Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA, Shah Alam
- ・ Graduate School of Business, Universiti Sains Malaysia, Penang
- ・ Othman Yeop Abdullah Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia, Kedah Darul Aman
- ・ Putra Business School, Selangor Darul Ehsan

Thailand

- ・ Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Phisanulok

2) Peer Review Committee の開催

2016年11月9日～10日、ソニー株式会社の発祥の地である品川・御殿山のSony Universityで2016年度Peer Review Committeeが開催されました。委員会は委員長であるProf. Dr. Arief Daryantoの司会により、7校のQuality Improvement Plan (QIP)が各代表者により説明され、5校のSelf-Check/Self-Evaluation Report (SCER)が各PRTリーダーにより報告され、そして18校のKaizen Reportが副委員長のDr. Azran AmranによりPeer Review Teamの審査報告書が説明され、審議の結果、それぞれの審査報告書が承認されました。



引き続き、資料に基き ABEST21 Accreditation System の一部改正と Kaizen Report 不提

出校の問題について審議がなされました。

3. Global Knowledge Network

=====

京都大学経営管理大学院創立10周年記念講演会・式典について

2016年10月22日、京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホールで、経営管理大学院創立10周年記念講演会・式典が挙行されました。記念講演では、先ず、若林靖永院長による10年を振り返っての開会挨拶が行われました。続いて、基調講演として Dean AnnaLee Saxenian (Professor, School of Information, University of California, Berkeley) による“次世代に向けた高度専門職業人・経営人材の教育”について講演され、学際的・グローバル組織での仕事を念頭におき、デザイン、データ、コンテクストの深い理解をもとにした問題解決を図る科目提供が必要であると説かれました。

特別講演では、南場智子氏（株式会社ディー・エヌ・エー取締役会長）による“京大ビジネススクールを私が好きにしたいと言われたら”が、特別報告では小林潔司教授（京都大学経営管理大学院附属経営研究センター長）による“文理融合型ビジネススクールの発展をめざして”が、それぞれ発想の転換を求める意義深い講演と報告がなされました。

引き続き記念式典が行われ、京都大学経営管理大学院長の若林靖永教授より開式の辞に続き来賓の阿曾沼慎司氏（京都大学理事）、幸田博人氏（みずほ証券株式会社代表取締役副社長）、浅野敦行氏（文部科学省高等教育局専門教育課長）、京都府知事の山田啓二氏、そして ABEST21 より伊藤文雄理事長が、それぞれ祝辞を述べました。

この経営管理大学院創立10周年記念講演会・式典には多くの修了生が出席され、その内容が2016年11月25日の朝刊・日本経済新聞（写真）に大きく掲載されました。



4. Membership Information

=====

新学部長の紹介について

2016年度下半期に、下記の会員校より ABEST21 に学校会員の新代表就任の報告がありました。

- Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA, Malaysia
Director Prof. Dr. Nor'Azam Mastuki,
- Faculty of Economics and Business, Universitas Gadjadara, Indonesia
Dean Prof. Dr. Eko Suwardi
- Waseda Business School, Graduate School of Business and Finance, Waseda University, Japan
Dean Prof. Dr. Shigeru ASABA,

5. 2016 Retrospect (January to December 2016)

“光陰矢の如し”で、またこの1年が過ぎていきます。その時間の速さがABEST21の成長の速さを裏付けているようで、ABEST21のマネジメント教育の質保証がアジア諸国に浸透しアセアン地域にABEST21の活動が認知されてきました。この1年間の活動を回顧して2016年の新年を迎えたいと思います。

2016年1月

- ・ 12日：SBI 大学院大学経営管理研究科の現地審査の実施
- ・ 19日：早稲田大学 Kaizen Report の現地審査の実施
- ・ 21日：青山学院大学 Kaizen Report の現地審査の実施
- ・ 26日：神戸大学 Kaizen Report の現地審査の実施
- ・ 27日：一橋大学 Kaizen Report の現地審査の実施
- ・ 28日：筑波大学 Kaizen Report の現地審査の実施
： 駐日インドネシア共和国特命全権大使ユスロン博士を訪問
- ・ 29日：第31回マネジメント人材育成協議会の開催

2016年2月

- ・ 05日：駐日インドネシア共和国大使館教育アタッシェ Dr. Alinda F.M.Zain の来訪
- ・ 18日：ソニー株式会社を訪問
- ・ 19日：日産自動車株式会社を訪問
- ・ 25日：タイ・チェンマイ大学学生の来訪
- ・ 27日：ABEST21 監事南山大学齋藤孝一教授を訪問
- ・ 29日：ABEST21 副会長の Ilker Baybars 教授と打合せ

2016年3月

- ・ 01日：合同委員会 (Peer Review Committee & Accreditation Committee) の開催
- ・ 02日：ABEST21 理事会、総会及び国際シンポジウムの開催
- ・ 03日：マレーシア・Dean Mohd Ridzuan bin Darun(Universiti Malaysia Pahang)の来訪
- ・ 22日：文部科学省に2015年度認証評価結果の報告

2) 2015年度認証評価審査結果報告書の提出について

2016年3月22日(水)、文部科学省高等教育局にABEST21 2015年度経営専門職大学院の「認証評価」審査結果報告書“マネジメント教育の質の維持向上に向けて—2015年度認証評価結果報告—”を提出しました。内容は質保証の成果を共有していくために、全て英文で記載しました。報告書は全三冊で、目次は四部からなり、第一部はABEST21の質保証システムについて、第二部は日本の専門職大学院(経営)の「認証評価」の結果について、第三部はアジアのビジネススクールの修士課程マネジメントプログラムの「相互評価」の結果について、そして第四部はアジアのビジネススクールの修士課程ビジネスエコノミックスプログラムの「相互評価」の結果について、全体で1,156ページに及ぶ報告書です。表紙は従来通りの日本語表記ですが、評価結果の報告内容は認証評価の国際展開



の一環として、2015 年度より報告書はすべて英文記載といたしました。

Part One: ABEST21 Quality Assurance System

Part Two: Professional Graduate Schools of Business in Japan

Part Three: Master Programs in Management in Asia

Part Four: Master Programs in Applied Economics in Asia

- ・ 23 日：文部科学記者会で 2015 年度認証評価結果の発表
- ・ 28 日：ソニー株式会社を訪問

2015 年度認証評価の合同委員会の開催

2016 年 3 月 1 日（火）に、Peer Review Committee と Accreditation Committee の合同委員会がソニー株式会社の Sony University で開催されました。この委員会審議の共有化により各委員会の審議内容と役割を相互に理解し、その理解の深化に寄与するものと考えています。2015 年度の国別の認証評価対象校数は、インドネシア 6 校、日本 2 校、マレーシア 1 校、ロシア 1 校、そしてタイ 1 校の計 11 校です。



2015 年度認証評価の結果と Good Practice Award の授与

2016 年 3 月 2 日（水）開催の総会において、11 大学のビジネススクールに対して、駐日インドネシア共和国大使館の特命全権大使 Dr. Yusron Ihza Mahendra 氏より、認証証書が手渡されました。さらに、各認証校の Good Practice Award については、副理事長の Dr. Ilker Baybars(CEO, Carnegie Mellon University-Qatar)氏よりそれぞれ授与されました。



2016 年度総会の開催

2016 年 3 月 2 日（水）に、2016 年度 ABEST21 会員総会がソニー株式会社の Sony University で開催されました。理事会で審議された 2015 年度収支決算報告及び 2016 年度予算(案)、2015 年度認証評価と Good Practice Award の承認、ABEST21 質保証システムの一部改正(案)等がそれぞれ審議され、種々意見交換の後、予算案の一部修正を含め、これを承認いたしました。



2015 年度国際シンポジウムの開催

2016 年 3 月 2 日（水）、東京・品川の Sony University で 2016 年度国際シンポジウム "Creating the Future through Quality Improvement" が開催されました。ソニー株式会社人事センター人材開発部統括部長足立朋子氏より、会社発展の原動力には "Curiosity" の精神があり、この "Curiosity" が新製品開発や品質改善を促し、今日のソニーを創り上げて



きていることを話されました。“常に Curiosity を持ち続ける”ことをソニー・スピリットとし、分野、地域の垣根を越えて活躍できる人材の育成に努め、性別、国籍を問わず、地域、分野を超えグローバルに適材適所に人材を配置していく人事（Global Job Posting Program）を展開していることを知りました。

2016年4月

- ・18日：文部科学省高等教育局専門職大学院室と打合せ

2016年5月

- ・02日：Universitas Sriwijaya, Indonesia 認証評価タスクチームの来室
- ・17日：Universita Indonesia (Jakarta)で ABEST21 Accreditation Seminar を開催

Faculty of Economics and Business, Universitas Indonesia, Jakarta でセミナーの開催

2016年5月17日、ジャカルタ市内のサレンバにある Universitas Indonesia ジャカルタ・キャンパスの MM プログラム校舎で、ABEST21 Accreditation Seminar を開催いたしました。最初、学部長の Dean Ari Kuncoro より認証評価の重要性についての講演を受け、理事長より2016年度の“Quality Improvement Plan”, “Self-Check Report”及び“Kaizen Report”の内容についての説明があり、Dean Sudarso Kaderi Wiryono(SBM-ITB) 及び Dean Candra Fjiri



Ananda(FEB-UB)よりそれぞれコメントをいただき、質疑応答を経て会を終了いたしました。今回は2016年度より開始される Undergraduate Programs についての詳細な説明が行われ、数校より受審相談を受けました。今回のセミナー開催につきましては、インドネシア大学の MM プログラムの Director Harryadin Mahardika 氏には大変お世話になりました。

- ・17日：インドネシアの The Ministry of Research, Technology and Higher Education of the Republic of Indonesia で Minister Mohamad Nasir と面会
- ・19日：インドネシアの Universitas Lampung (Bandar Lampung)で ABEST21 Accreditation Seminar を開催

Faculty of Economics and Business, Universitas Lampung, Bandar Lampung でセミナーの開催

2016年5月19日、バンダール・ランプーンの Universitas Lampung (UNILA)キャンパスにある MM プログラムの校舎で、ABEST21 Accreditation Seminar を開催いたしました。最初、学部長の Dean Satria Bangsawan より ABEST21 の認証評価の受審経験に基づいて認証評価の説明がなされ、ABEST21 理事長より2016年度の“Quality Improvement Plan”, “Self-Check Report”及び“Kaizen Report”の変更点について詳細な説明がなされました。インドネシアではジャワ島



を中心としたマネジメント教育研究の振興をスマトラ島にまで拡大していくために、ABEST21 Sumatra Global Knowledge Network の構築を呼びかけました。また、2016年度より開始される Undergraduate Programs については関心が高いことを知りました。会の進行には Vice Dean の Dr. Mahrina Sar にお世話になりました。

- ・ 28 日：インドネシアの Universitas Hasanudin (Makassar) で開催された APMMI 年次総会に出席
- ・ 30 日：マレーシアの International Islamic University Malaysia Center for Strategic Continuing Education and Training (IIUM CRESCENT) (Kuala Lumpur) で ABEST21 Accreditation Seminar を開催

IIUM Center for Strategic Continuing Education and Training (IIUM CRESCENT) でセミナーの開催

2016 年 5 月 30 日、クアラ・ Lumpur の IIUM CRESCENT (Kuala Lumpur) にある MM プログラム校舎で、ABEST21 Accreditation Seminar を開催いたしました。最初、学部長の Dean, Professor Dr. Ainul Jaria Maidin (写真前列左 2 人目) より認証評価の意義について詳細な説明を受け、理事長より 2016 年度の“Quality Improvement Plan”, “Self-Check Report” 及び“Kaizen Report”の内容の変更点及び 2016 年度より開始される Undergraduate Programs について詳細な説明が行われ、そのあと活発な質疑応答がなされました。



Minister Mohamad Nasir に名誉会員証を授与

2016 年 5 月 17 日、The Ministry of Research, Technology and Higher Education of the Republic of Indonesia を訪問し、Minister Mohamad Nasir に名誉会員証が授与されました。



2016 年 6 月

- ・ 28 日：国立研究開発法人理化学研究所理事の有信睦弘氏の来訪
- ・ 29 日：SBI 大学院大学経営管理研究科長の石川秀樹教授の来訪
- ・ 29 日：ソニーコーポレートサービス株式会社の取締役執行役員人事センター長望月賢一氏を訪問
- ・ 30 日：独立行政法人統計センターの椿広計理事長を訪問

2016 年 7 月

- ・ 25 日：Rady School of Management, UCSD 同窓会に出席

University of California San Diego の東京事務所の開所について

2016 年 7 月 26 日、日本橋ライフサイエンスビルに米国・カリフォルニア大学サンディエゴ校の東京事務所が開所いたしました。開所記念行事では、Rady School of Management の Dean Robert S. Sullivan 教授が“Overview and New Initiatives at the Rady School of Management (レディ経営大学院における新たな取り組みとプログラム)”について講演され、産学連携によるイノベーションプログラムの開発について講演されました。その前日の 25 日には、東京六本木で Rady School of Management の修了生約 20 名との会合をもたれました。修了生達は Rady School の



教育が今の自分を築いていると誇りにしていました。

- ・ 26 日 : US San Diego Tokyo Office Grand Opening Symposium に出席

2016 年 9 月

- ・ 03 日 : 神戸大学経営学研究科現代経営学専攻の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 14 日 : Faculty of Economics and Business, Universitas Brawijaya, Malang の Self-Check Report 実地調査の実施
- ・ 16 日 : Faculty of Economics and Business, Universitas Sebelas Maret, Solo の Self-Check Report 実地調査の実施
- ・ 17 日 : Faculty of Economics and Business, Universitas Diponegoro, Semarang の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 19 日 : Faculty of Economics and Business, Universitas Hasanuddin, Makassar の Self-Check Report 実地調査の実施
- ・ 21 日 : Faculty of Economics and Business, Universitas Indonesia, Jakarta の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 22 日 : School of Business and Management, Institute Teknologi Bandung, Bandung の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 23 日 : Faculty of Economics and Business, Universitas Padjadjaran, Bandung の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 26 日 : 一橋大学大学院国際企業戦略研究科経営・金融専攻、東京の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 28 日 : School of Business Administration, Northeastern University, Shenyang の Kaizen Report 実地調査の実施

2015 年度の実地審査の実施

2015 年度の“Self-Evaluation Report” 及び“Kaizen Report”の
実地審査は、2015 年 10 月から 2016 年 1 月の 4 ヶ月間にわたり
20 校を対象に行われました。改めて実地審査の重要性を再
認識いたしました。実地審査は大学と PRT(Peer Review Team)
とが一体となってビジネススクール教育の質維持向上を図っ
ていく場であり、課題解決の問題を共有していく機会として、
改善課題を大学執行部、学部執行部、学部教職員そして学生
等と共有しました。



2016 年 10 月

- ・ 03 日 : Faculty of Business, Economics and Communications, Naresuan University, Phisanulok の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 05 日 : Faculty of Industrial Management, Universiti Malaysia Phang, Phang の Self-Check Report 実地調査の実施
- ・ 07 日 : Graduate School of Management, International Islamic University Malaysia, KL の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 09 日 : University Kuala Lumpur Business School, KL を訪問
- ・ 10 日 : Putra Business School, Selangor Darul Ehsan の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 11 日 : Graduate School of Business, Universiti Kebangsaan Malaysia, Selangor Darul Ehsan

の Kaizen Report 実地調査の実施

- ・ 12 日 : Arshad Ayub Graduate Business School, Universiti Teknologi MARA, Shah Alam の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 14 日 : 青山学院大学国際マネジメント研究科国際マネジメント専攻、東京の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 15 日 : 関西学院大学経営戦略研究科経営戦略専攻、西宮の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 17 日 : SP Jain School of Global Management, Singapore の Self-Check Report 実地調査の実施
- ・ 19 日 : Graduate School of Business, Universiti Sains Malaysia, Penang の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 20 日 : Othman Yeop Abdule Graduate School of Business, Universiti Utara Malaysia, Sintok の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 22 日 : 京都大学経営管理大学院創立 10 周年記念講演会・式典に出席
- ・ 24 日 : SBI 大学院大学経営管理研究科アントレプレナー専攻、東京の Kaizen Report 実地調査の実施
- ・ 27 日 : 筑波大学大学院ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻、東京の Kaizen Report 実地調査の実施

2016 年 11 月

- ・ 09 日～10 日 : Peer Review Committee を Sony University-Sony Corporation で開催
- ・ 10 日 : Peer Review Committee Seminar を Sony University-Sony Corporation で開催
- ・ 14 日 : Graz University, Austria に出張
- ・ 28 日 : Sony Corporation を訪問
- ・ 28 日 : 文部科学省高等教育局専門教育課専門職大学院室を訪問

2016 年 12 月

- ・ 12 日 : 文部科学省高等教育局高等教育企画課を訪問
- ・ 15 日 : 経営専門職大学院の認証評価更新セミナーを開催
- ・ 22 日 : 年内業務納め

統計

ABEST21 Accreditation 2016

Master Program in Management

- ・ Graduate School of Management, Kyoto University, Japan
- ・ Graduate School of Business Administration, Nanzan University, Japan
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Airlangga, Indonesia
- ・ Graduate Program of Management and Business, Institut Pertanian Bogor, Indonesia
- ・ Faculty of Economics and Business, Universitas Lampung, Indonesia
- ・ PPM School of Management, Jakarta-Indonesia
- ・ School of Economics and Business, Universitas Telkom, Indonesia
- ・ Graduate School of Management, Management and Science University, Malaysia
- ・ Lomonosov Moscow State University Business School, Lomonosov Moscow State University, Russia
- ・ Faculty of Business Administration, Chiang Mai University, Thailand

Master Program in Business Economics

- Faculty of Economics and Business, Universitas Brawijaya, Indonesia

New Membership

- Graduate School of Commerce, Burapha University, Chon Buri, Thailand
- Master of Management, Post Graduate Program, Universitas Pendidikan Nasional, Denpasar, Indonesia
- Institute of Postgraduate Studies and Research, Universiti Tunku Abdul Rahman (UTAR), Malaysia
- Universiti Kuala Lumpur Business School, Kuala Lumpur, Malaysia